



1000年後の子どもたちにきれいな地球をプレゼントしよう

【興味を持ってくれた皆さまへ】

私たちは伊豆半島ジオパークの15市町のすべてをフィールドとしています。この活動に参加したいと思う子どもとその保護者の方、また協力・連携してくれる個人・団体の方は、ぜひご連絡ください。

今後は「伊豆半島ジオパークスクール(仮称)」や「森は海の恋人～Earth Rhythm～」 「1000年後のママたちへ」「子どもジオガイド ジオキッズ」など様々な活動を予定しています。

一人ひとりではできない、大きなムーブメントを作り、1000年後の私たちの子孫に、美しい地球を引き継いでいきましょう。



1000年後の子どもたちに きれいな地球をプレゼントしよう プロジェクト

おとなスタッフ
代表：たけちゃんマン
事務局長：ありんこ

E-mail
izugeoschool@gmail.com

Facebook
1000年後の子どもたちにきれいな海をプレゼントしよう

Think about 1000 years later

1000年後の子どもたちに
きれいな地球を
プレゼントしよう



Since 2020

ユネスコ世界ジオパークに認定された美しい伊豆半島。地元の子どもたちが毎日のように遊びに行く海。美しい海から浜に目を向けると、そこには大量のゴミが落ちています。中でも目立つプラスチックゴミは、分解されるのに400~600年と途方もない時間を必要とします。「今この瞬間からゴミを捨てなかったら、1000年後の子どもたちにゴミのない海を見せることができる。」私たちはそんな想いを共有し実践できる子どもたちと一緒に1000年後の未来をつくるため、2020年から「1000年遠足」を始めました。



1000年遠足とは

月に一度、伊豆南エリアの海岸のゴミ拾いとジオ学習を行う活動。爪木崎、恵比須島、柿崎 腰越海岸、田牛龍宮窟サンドスキー場などで活動しました。



gallery



Voice

- ・Nちゃんがんばりました。4さい
- ・ごみひろいをして、すなまはがきれいになりました。
- ・かせきを見つけられて楽しかったし、ごみひろいをしていろいろなごみをひろいました。9才
- ・どうくつが3つあってすごかった。9才

「1000年遠足」を基本として、プロジェクトの資金集めのシークラフトや活動報告の新聞作りなどを行っています。

子どもたちによって集められる様々なゴミ。貝が付着したペットボトル、粉々に砕けたマイクロプラスチック、海藻と絡みついた釣り糸、発泡スチロール、ビン、中にたばこが詰められたコーヒー缶、タイヤなどもありました。特に子どもたちが衝撃を受けたのは、口に釣り糸が絡みついた海鳥の死骸でした。ゴミ汚染のひどさに泣きたくなるような、少しでもきれいになった浜に誇りをもてるような、そんな複雑な気持ちでも、子どもたちは常に「遊び」を忘れず活動しています。